

伊藤園

小学生、喫茶文化学ぶ お茶入れる体験授業

伊藤園は4日、東京都板橋区の赤塚小学校で、お茶の知識や急須でお茶を入れる体験を学ぶ出前授業を行った。写真。同校では、毎年板橋区が管理する茶畑で児童らが茶摘み体験を行い、「いたばしのお茶」として製茶さ



れるまでを体験する取り組みを行っている。

今回はその一環として、児童が摘んだ茶葉を加工した

同品を用いた授業を実施した。授業開始前に同校の南野秀人教諭は「参加児童は昨年音楽の授業で『茶摘み』の歌を学習し、今年実際に茶摘み

を体験した。科目の枠を越え、さらに掘り下げた授業を伊藤園さんの協力で実現できた」と経緯を説明。さらに「子どもたちにはお茶を通して喫茶文化や日本のおもてなしの心も学んでほしい」と語った。

授業に参加したのは同校の4年生100人。同社マーケティング本部麦茶・紅茶・中国茶・健康茶ブランドグループ商品チームの丸幸隆太氏指導の下、前半はお茶の歴史や栄養などをクイズ形式で学んだほか、製茶工場の様子を動画で鑑賞した。

後半は同社が展開する「理想の急須」を用い、氷水出し緑茶作りに児童自ら挑戦した。茶葉がゆっくり開く様子の観察や、お茶の濃さが均等になるように交互に注ぐなど、お茶をおいしく入れるコツを学んだ。

質問コーナーでは多くの児童から手が挙がり、活発に意見が飛び交った。試飲後には、「甘くておいしい」「いつもより良い香りがする」と感想を述べた。

授業後に丸幸氏は「小学生を対象とした授業は私にとって今回が初めてだが、みんな

が積極的に取り組んでくれるなど手応えを得た。日本文化としての

お茶の普及拡大に可能性を感じた」と語った。
(大村まい)